

お詫びと訂正

このたびは『看護学生』2019年11月臨時増刊号（Vol.67 No.10）におきまして、以下の誤りがございました。

本誌をご購読いただいている皆様にはご迷惑をおかけしましたこととお詫びし、ここに訂正いたします。

『看護学生』編集室

（最終更新日：2020年12月17日）

箇所	誤	正
p.9 「内分泌・代謝疾患患者の看護」の執筆者名	<u>笹かおり*</u> ・ <u>平戸由志江**</u> <u>* 所沢市医師会立所沢准看護学院・教務主任</u> <u>** 同・専任教員</u>	<u>湊睦恵</u> <u>浜田准看護学校・教務主任</u>
p.28 ▶ 9の解答	【問9と問10, 問11の解答と解説が入れ替わって掲載されておりました】	<u>能動免疫</u> <u>抗体を含む血清を注射して一時的な免疫を得た型の免疫を受動免疫という</u>
p.28 ▶ 10の解答		<u>細胞性免疫</u> <u>B細胞（骨髄由来）が関与する免疫は体液性免疫という</u>
p.28▶11の解答		<u>免疫グロブリン</u> <u>免疫グロブリンは抗体と同じ意味で用いられる。抗体は抗原に反応して様々な免疫反応を起こす</u>
p.34▶7の解答	<u>地域包括支援センター</u> (看護学入門5巻「保健医療福祉のしくみ」p.139, 200)	<u>居宅介護支援事業者</u> (看護学入門5巻「保健医療福祉のしくみ」p.200)
p.50 ▶ 12の解答	<u>III - 30</u>	<u>III - 300</u>
p.82 ▶ 11の解答	【問11と問12の解答と解説が入れ替わって掲載されておりました】	<u>コルポスコピー</u> <u>スクリーニングとして子宮頸部の細胞診がきわめて有効であるが、確定診断にはコルポスコピーで病変部を確定しての細胞診が用いられる</u>
p.82 ▶ 12の解答		<u>子宮体部</u> <u>子宮筋腫は子宮の平滑筋成分からなる良性腫瘍である。子宮筋腫の90～95%は子宮体部に発生し、5～10%は子宮頸部に発生する</u>